

各位

会社名 グリーンピープルズパワー株式会社  
東京都新宿区新宿 2-4-2 カーサ御苑 903  
代表者名 代表取締役 竹村英明  
電話番号 03-6274-8660

## 公募増資による新株式の募集に関するお知らせ

当社は、2020年2月27日開催の当社株主総会及び2020年3月2日開催の当社取締役会において、下記のとおり公募増資による株式の募集を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 公募増資により発行される株式の募集の目的

当社は2017年2月3日に設立後、小売電気事業者三社の「取次」を経て、2019年9月9日に、小売電気事業者として正式に登録されました。

これにより、2019年12月からは自社で電気の供給を開始し、2020年2月からは自社で調達した再生電気の供給も始まりました。今年度末までに再生中心の質の高い電気（再生比率の高い電気かつ環境負荷の低い電気）の供給を50%以上に高めたいと考えています。

本件株式募集により調達した資金の使途は主に2つで、(1)代理店や企画営業による広報と(2)電気の調達に係る決済資金の準備です。

#### (1)代理店や企画営業による広報

小売電気事業は、その原価内訳の8割近くを電力仕入と託送料金が占め、粗利率が極めて低い一方で、電気の取扱高の多少にかかわらず業務の質を担保するため一定程度の人員を必要とします。弊社の事業予測で黒字化を見込んでいるラインは契約量で10MW（メガワット）程度、ユーザー数にして1,000件程度です。

2019年3月27日時点で弊社への電気の切り替えが完了しているユーザーは契約量で1.3MW、契約数にして259件でしたが、その1年後の2020年3月にはユーザーは契約量で2.3MW、契約数にして460件と順調に契約が増加しました。

この勢いで第4期末に当初の目標である黒字化ラインへ到達するため、一層の営業強化を目指し、黒字体質化を目指します。当社の既存の営業スタッフだけでなく、広範囲に人的又は地域的なつながりを持つ団体が代理店として営業活動を行うことで営業範囲の拡大、より効果的な企画営業を行うことを予定しています。具体的な支払見込みとして、原則として契約成立時にkWあたり500円を代理店に支払うことを予定しています。これらの支払及びそのための広報費用として500万円を見込んでいます。

# Green People's Power

## (2)電気の調達に係る決済資金の準備

また電気の調達に係る決済資金の準備についてですが、電気の原価である電力仕入は発電所に対して需要家へ供給する電気代を払うもので、これは1か月以内に決済を必要とし、電気のユーザーが増えていくある時期に、電気の支払分が電気の入金を上回る時期が発生します。自社で電源調達を行い、電気仕入れ支払の支払いリスクを自社で追いますので、収支は黒字となっても、一度に多額の資金決済を必要とする状況が発生することを予測しています。このような資金決済需要に速やかに対応するために資金確保を目的としています。

なお、2018年3月28日に発行した公募増資（調達額 20,000,000円）は、当初の予定通り発行し、その額のうち約8,000,000円を2018年度の人件費及び広報、営業経費に充当し、2019年3月27日に発行した公募増資（調達額 15,000,000円）は、当初の予定通り発行し、その額のうち約5,000,000円を2019年度の人件費及び広報、営業経費に充当しております。

## 2. 調達する資金の額及び使途

### (1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

20,000,000円

### (2) 調達する資金の具体的な使途

上記差引手取概算額2,000万円は、電気仕入れおよび営業経費などの運転資金に充当する予定であります。その具体的な内訳は、営業経費に500万円、電気仕入れの決済資金1,500万円となります。

### (3) 調達する資金の支出予定時期

調達資金は、営業経費は代理店制度をスタートさせておりますので随時の支出、電気の仕入れは既に発生しておりますので、調達でき次第の支出を予定しております。

### (4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

#### <電気仕入れの決済資金>

本件増資は、粗利率が低い小売電気事業において、一定規模の顧客確保とそれに伴う売上の増加が必須であるという、業態の特性を踏まえたものです。そのため営業を強化し、さらなる顧客確保を必要と考えます。

また、多額の電気仕入れ支払いが常に先行する、小売電気事業という業態の特性を踏まえたものです。電気の供給にあたってはリアルタイムな仕入れと送配電網の利用（託送）が不可欠となります。しかし、ユーザーからの電気料金収入が入ってくるのは、使用量の集計や料金徴収手続きなどを経て、電気の使用開始から2ヶ月後となります。そのタイムラグを埋める資金準備が不可欠な事業であります。同時に仕入れに対しては、ほぼ必ず、それを上回る代金収入が見込まれます。したがって、調達する資金使途には合理性があるものと考えます。

#### <営業経費>

# Green People's Power

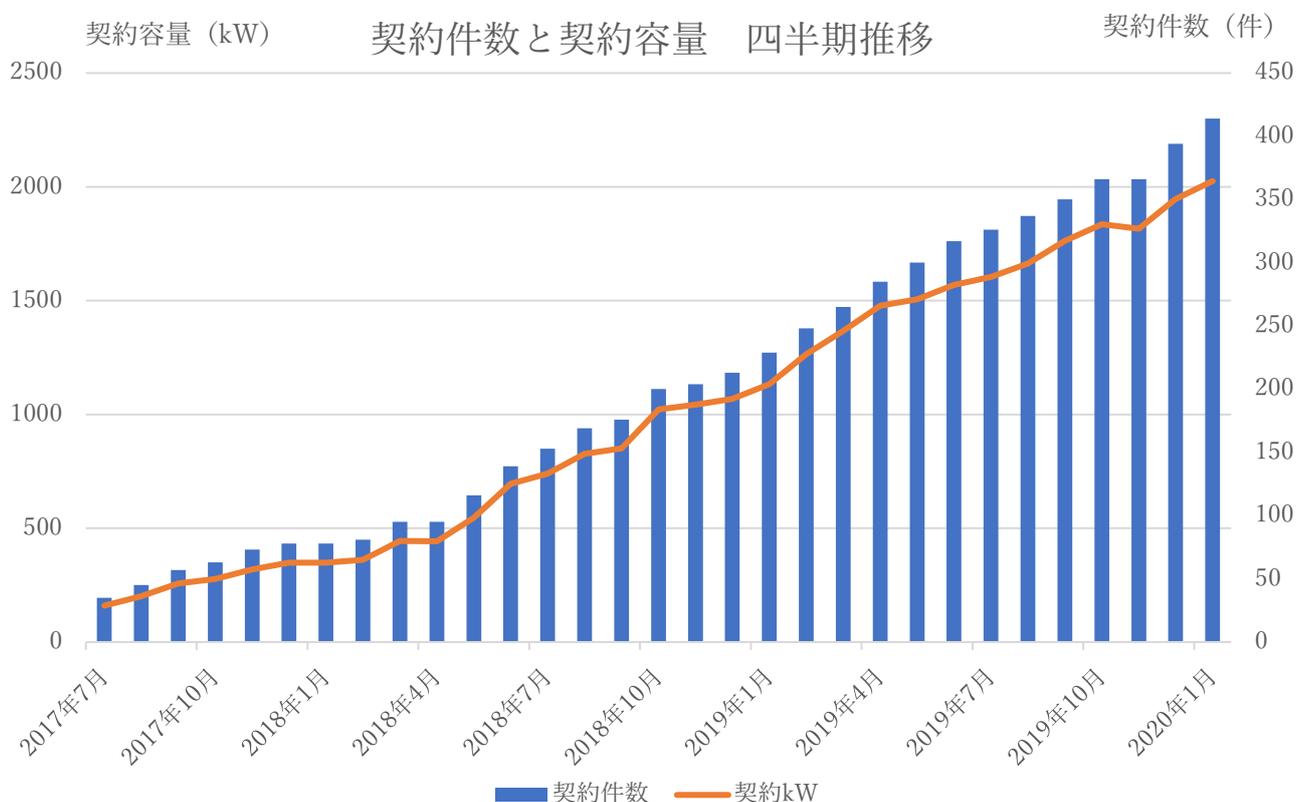
さらに、当社は設立から3年経過し、一定の顧客を獲得しておりますがその顧客層は当社に対して一定の安心感と信用を持っていただいているので、エリア外への引っ越しなど特別な理由がない限り、契約解除がほぼない状態です。(エリア内引っ越しは、引っ越し先でも当社の電気を使っていただくことがほとんどです)。今回のコロナウィルス拡大の中でも、売上は全く落ちておらず、小売電気事業の強さを実感しています。このように、一度契約をいただいた顧客からほぼ永続的に電気料金の支払いがあることから、顧客数を伸ばすことが収益の安定化につながると考えています。そのため、現在の営業活動をさらに広げるために、人的なつながり営業をさらに拡大させていくことが営業上有益であり、そのための調達する資金用途には合理性があると考えます。

3. 公募増資申込期間 2020年4月2日(木)～2020年6月30日(火)

4. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

当社は小売電気事業者としては、設立から3年を超えました。しかし、この間は「取次」として、ライセンスを保有する小売電気事業者の電気を代理供給してきました。したがって、収入としては取次手数料収入のみとなり、非常にわずかです。しかし、電気の売り上げという視点から見れば、3年間で飛躍的に電力ユーザーを増やし、電気の取扱高も増えてきました。それを四半期ごとの電気の契約数(取扱高)推移として下記にお示しいたします。



# Green People's Power

(2) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

公募増資（普通株式）

発行期日	2020年7月15日
調達資金の額	20,000,000円
募集時における発行済株式数	760株(2020年3月28日現在)
当該増資における株式数	400株
募集後における発行済株式総数	1,160株

以上